

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年10月13日

【四半期会計期間】 第27期第1四半期（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）

【会社名】 株式会社ケイブ

【英訳名】 CAVE Interective CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長CEO 秋田 英好

【本店の所在の場所】 東京都目黒区上目黒2丁目1番1号

【電話番号】 03-6820-8176

【事務連絡者氏名】 代表取締役副社長CFO 安藤 裕史

【最寄りの連絡場所】 東京都目黒区上目黒2丁目1番1号

【電話番号】 03-6820-8176

【事務連絡者氏名】 代表取締役副社長CFO 安藤 裕史

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2020年10月13日に提出いたしました第27期（自 2020年 6月 1日 至 2021年 5月31日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第3 提出会社の状況

##### 1 株式等の状況

##### (4) 発行済株式総数、資本金等の推移

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_を付して表示しております。

### 第一部【企業情報】

#### 第3【提出会社の状況】

##### 1【株式等の状況】

(訂正前)

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年 8月31日		5,277,900	1,193,795	1,094,684	2,232,118	

(注) 会社法第447条第1項及び448条1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金へ振替えたものであります。

(訂正後)

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年 8月31日		5,277,900	1,193,795	1,094,684	2,232,118	

(注) 1 会社法第447条第1項及び448条1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金へ振替えたものであります。

2 2019年3月14日付で提出した有価証券届出書に記載いたしました「第一部 証券情報 第1募集要項 5新株発行による手取金の使途(2)手取金の使途」について、2020年3月30日付で変更が生じておりましたが、さらに2020年8月28日付で変更が生じております。

##### 1. 変更の理由

2019年3月14日開示の「第三者割当による新株式及び新株予約権の発行並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」及び2020年3月30日付「第三者割当増資に係る資金使途変更に関するお知らせ」に記載のとおり、第三者割当による新株式発行による資金調達である1,017百万円を「新規スマートフォンネイティブゲームのアプリ及びその他デバイスにおけるゲーム開発」及び「新規スマートフォンゲーム製作委員会への出資」に2021年9月までに充当する予定でしたが、未充当分である資金につきまして、2020年8月31日において当該資金を使用しておりません。

一方で当社は、2020年8月31日開示の「海外子会社の設立に関するお知らせ」に記載のとおり、ライブ配信アプリのさらなるクオリティの向上を目指すこととしリリース時期を改めることといたしました。

そのため第三者割当増資による調達資金の資金使途を変更し、ライブ配信プラットフォームの開発費用等及び当社事業に係る運転資金に充当し、同時にこれまで未使用である資金の支出時期を変更するものです。

2. 変更の内容

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。(変更箇所は      で示しております。)

[変更前]

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
新規スマートフォンネイティブゲームアプリ及びその他デバイスにおけるゲーム開発	711	2020年6月～2021年9月
新規スマートフォンゲーム制作委員会への出資	306	2020年3月～2020年4月

- (注) 1. 上記の使途及び金額は、現時点での当社の新規タイトルの開発計画等を前提として、現時点で入手し得る情報に基づき合理的に試算したものであります。このため、今後、当社が上記計画を変更した場合あるいは事業環境の変化があった場合など、状況の変化に応じて使途又は金額が変更される可能性があります。また、上記の支出予定時期は、上記計画のいずれもが順調に進捗した場合を前提としております。
2. 調達資金を実際に支出するまでは、銀行預金で運用する予定であります。
3. 開発に係る人件費として500百万円、外注費として211百万円を見込んでおります。外注費の内訳としては開発受託に194百万円、デバック費用に10百万円、声優等に7百万円を見込んでおります。

[変更後]

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
ライブ配信プラットフォーム開発費用等	300	2020年8月～2021年9月
新規スマートフォンゲーム制作委員会への出資	306	2020年3月～2020年4月
当社事業に係る運転資金	411	2021年6月～2021年12月